
あの子の一ヶ月のお祝いに

れみどれ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの子の一ヶ月のお祝いに

【著者名】

れみどれ

【あらすじ】

・・・咽び。彼等の三つのお祝いに、自らも羽ばたいた

思いよ届けと、月を日掛けで靴飛ばす
あらう、大変。裏返し。靴のお返事、曇り後雨
刹那に消えた豆電球。僕のお部屋は真っ暗
聞こえる天の啜り泣き。ぽちやぽちや滴る涙

ある時、暗い部屋で墮天使、イヒヒと笑う

『あの子はもうった』

少しずつ食む

ある時、小声である子は咳く
コクコク、短い首振りながら

白黒キネマのマイルームから、流れる生き血が踊る
あの子はここに居る。お前なんかに渡すモノか
その時やつらは大口開けて笑った

『諦めてしまえよ！あの子が一ヶ月・・・』

聞こえない。髪の毛むしって、目・耳・鼻、全てを閉ざす

ある時、あの子は呟く

『大好き』

周りがイヒヒと笑う。

つられて自分もイヒヒと笑う。

倒れたそのモノを見て、自分が嫌になる

もう嫌だ。もう嫌だ。

死んでしまえば済むんだ

でも一番嫌なのは

こんな自分だ

よく見たら「」の子

お人形。

(後書き)

どうも。 ふらどれです。

今回はあさきさんの「この子の七つのお祝いに」の自己解釈と自分の体験談を混ぜてみました

以下、この小説の真意文となりますので、自己解釈で終わりたい。などの方は飛ばして下さい

（真意）

この小説は結論から言つと・・・

「告白した女の子に彼氏が出来て一ヶ月」

と言つ内容です。もちろん、“自分”に幸せが訪れる事はありますでした。

一ヶ月間、自分がフラれた。と言つ現実から逃げ続け・・・
拳句の果てに、彼女に、彼氏が出来た・・・
そして、人形を彼女と見立てて一ヶ月の間同居し続ける。

とうとう一ヶ月の日が来た。

自分も決断をしなければ行けない。

妄想と現実の境界線を引くかのように、人形の首を刎ねた

・・と言つお話をした。

どうでしたかね？

あさきさんを意識して書いたつもりでしたが・・・（本人に失礼だろ）にしても・・・こうやって文を書いてみると・・・あさきさんは勿論の事 小説家の皆さんや、作詞されている方の偉大さが本当に分かります

ね
・
・

あわせさんとか・・・真意が凄すぎる・・・。あんぐらいの治癒・表現力が欲しいです・・・。

このサイトでは、『これが処女短編作。』となりましたが・・・。
ここまで読んでいただき、ありがとうございました！
もしよろしければ感想なんかもお願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3357m/>

あの子の一ヶ月のお祝いに

2010年10月9日09時43分発行